

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和2年度 二級河川本川水系 小梨川支川 砂防激甚災害特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. 2		調査位置	竹原市小梨町			北緯	34° 22' 17.4705"							
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所				調査期間	令和02年12月25日～令和02年12月28日		東経	132° 55' 19.8855"						
調査業者名				照査技術者			管理技術者			ボーリング責任者					
孔口標高	T.P. 225.99 m		角			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機 東邦地下工機D0-D		
総削孔長	6.00 m		度			位置			エンジン	ヤンマーTF-90M		ポンプ	東邦地下工機BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試験採取番号	室内試験	削孔月日	
											N値	深度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量 (m)						
1	225.44	0.55	雑混じり砂質土	淡茶灰	中位な				砂は細～中粒砂を主体とする。 φ=2～30mmの亜角、重円礫を混入する。 深度0.1mまで木草根混入。			1.15	8	9	7	24				
2	223.09	2.90	強風化泥質岩・砂	茶褐色～青灰					泥質岩の強風化岩。 コアは土丹～砂礫状を示す。 コアはハンマ軽打で崩れ、砂礫状となる。 茶褐色と原岩色のコアが混在。 岩級区分DLクラス。		24.0	1.45	7	9	11	27				
3	222.29	3.70	強風化泥質岩・軟岩	茶褐色～青灰					泥質岩の強風化岩。 コアは砂礫状～岩片状を示す。 コアはハンマ軽打で砂礫～塊状化。 キレット、砂礫状部分は茶褐色に酸化。 岩級区分DH～CL。		27.0	2.45	50	50	50	300				
4	219.99	6.00	強風化泥質岩・軟岩	暗青灰～青灰					泥質岩の風化岩。 コアは岩片状主体、場所的短柱状。 ハンマ軽打で分離し礫状となる。 キレットは低角度～45°で顕著、キレット面は茶褐色に酸化。 岩級区分CL。		750.0	3.00	20	20	20	50				
5											50.0	4.00	50	50	50	0				
6											50.0	5.00	50	50	50	0				
											50.0	6.00	50	50	50	0				12/26